



SECOND
HARVEST
セカンドハーベスト ジャパン

Harvest News

2008 issue 1

Food for all people

www.2hj.org

知っていますか フードドライブ

文章:大原悦子

目次

フードドライブとは	1
学校でのフードドライブ	2
ようこそダニエル	3
ありがとうミッシェル	4
チャリティーコンサート報告	5
2HJ ひと口ニュース	6

お問い合わせ先

〒111-0053
東京都台東区浅草橋4-5-1
水田ビル1F
E-mail:
info@2hj.org
volunteer@2hj.org
HP: www.2hj.org
Tel: 03-3838-3827
Fax: 03-3863-4760

お金の寄付

郵便口座
名義:FBJ
口座番号:00120-7-171027

銀行口座

銀行:三菱東京 UFJ 銀行
用賀出張所 (523)
口座種類:普通
口座番号:3647565

「フードドライブ」とは、家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の慈善団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。日本ではまだなじみが薄いのですが、フードバンク発祥の地、アメリカでは1960年代から盛んに行われているそうです。

ここ数年、日本でも少しずつフードドライブが広まってきています。女性専用のフィットネスクラブ「カーブス」を運営するカーブスジャパン(本社・東京都台東区)は2007年11月、キャンペーンを実施し、全国約600の店舗で1カ月間、会員らに食品の持ち寄りを呼びかけました。

「未開封のもので、常温で保存できる、賞味期限が2008年2月1日以降の食品」という条件つきで募ったところ、缶詰やレトルト食品、乾物、調味料、それにお米やコーヒー、紅茶、お菓子など約50トンが集まったそうです。それらは各地の児童養護施設、教会、母子寡婦福祉会など全国約300の施設に届けられました。 **P2に続く**



塵も積もれば山となる フードドライブを行うことは誰でもできます。開催の仕方のコツは、P3をご覧ください。写真:カーブス・ジャパン

セカンドハーベストジャパンについて

フードバンクは、市場に出すことはできなくとも、人々が消費するのに十分な安全性をもった食品を処理する代替案です。セカンドハーベストジャパンは、これらの食品を炊き出し、児童養護施設、高齢者、緊急シェルター、母子家庭、ホームレス、移住労働者などに再配分しています。食品の小売店、製造業者、輸入業者は販売することができず廃棄しなければならない食品の問題に直面しています。企業が廃棄費用を削減するとともに、地域貢献を果たす手助けをするのがフードバンクです。セカンドハーベスト ジャパンは2002年に非営利活動法人格を取得しており、グローバル・フードバンキング・ネットワークの会員です。



このニュースレターは、「ニュースキン ジャパン フォース フォー グッド基金」の助成により作成されました。



フードドライブ P1 からの続き

だれかの役にたてるのなら、何かしてみたい。そう思っている、これまでなかなかきっかけがなかった、という声に参加した人たちから聞かれたそうです。手軽にできるボランティア活動として、また地域でのつながりを改めて実感できる活動として、フードドライブは今後ますます注目されそうです。

2HJはフードドライブの実施にあたり、ノウハウのアドバイスなどを行っています。これまでに多くの一般企業のオフィスでもさまざまな形でのフードドライブが実施されました。例えば、ある外資系コンピューター関連企業では、社員がお米を自宅から持ち寄るというライブドライブを行ったり、別の会社では 2HJ のボランティアが社内でフードドライブを主催したりといったこともありました。

「特売で買った缶詰がたくさん残っている」「いただきものの紅茶があるけれど、家族では飲みきれない」……。あなたの家の台所にも、そんな食品が眠っていませんか。賞味期限切れで「ゴミ」になってしまう前に、食品を有効に生かすチャンスがフードドライブなのです。■



あなたの台所から食料を必要としている人の手へ国内でフードセキュリティーを欠く人の元へ送られる多くの寄贈食品。大小ともに、すべてのフードドライブが大きな助けとなります。

写真:カーブス・ジャパン

ハーベストパントリーの新年の目標:重量を増やすこと

文章:kmh

ハーベストパントリーは休暇の間に 2,000 キロ以上重量が増えました！この大幅な増量は、学校のフードドライブで寄付された缶詰食品や保存食によるものです。

昨年 12 月、東京にある 6 つの学校のおかげで、ハーベストパントリーに人々の関心や善意、そして何千品もの食料が集まりました。アメリカン・スクール・イン・ジャパン (ASIJ) は 750 キロ、東京韓国学校 (TKS) は 500 キロ、西町インターナショナルスクールは 300 キロ以上、キャンプ座間ミドルスクールは 250 キロ、カナディアンアカデミーは 280 キロ、そして清泉インターナショナルスクールは 200 キロの食料をそれぞれ集めました。

「生徒たちが地域社会に積極的に貢献するのは素晴らしいことです。それによって彼らは、自分たちの日常生活と日本の困っている人たちの生活とを結びつけて考えることができます。また、自分たちが地域社会にポジティブなインパクトを与えられることにも、改めて気付くことができます。」と、セカンドハーベスト・ジャパン (2HJ) の理事長チャールズ・マクジルトンは言います。

今回、TKS は前年の 2 倍の量の食糧を集めました。小学生たちがやる気を起こすようにと、先生たちは持ち込まれたそれぞれの食品と引き換えに抽選券を配り、フードドライブの終了時に 3 名の当選者を選びました。さらに、2,000 品以上の食糧を集めた生徒たちへのご褒美として先生たちがダンスも披露しました。

「生徒たちは、2HJ に食糧を寄付したことを楽しい思い出として捉えています。誰かの生活にプラスの変化を生じさせることで、結果的には自分たちもいい気分になることができます。これは何よりも素晴らしいことです。」と TKS で教師を務めるマーク・バレンズさんは語っています。



大事な“キロ数” アメリカン・スクール・イン・ジャパンの生徒たちが一緒になって保存食を集め寄付しました。ASIJ では、6 年に渡って貧困者に食料を提供しています。

写真:ミーガン・ペイヴィ

P3 に続く



2倍の寄付 東京韓国学校の生徒たちが、昨年の2倍の量の食品を集めたことに対するご褒美は、先生たちによるパフォーマンスだけでなく、誰かのために役立ったという経験が生徒たちの良い思い出になったこともご褒美になりました。写真:TKS

食料を必要とする人たちを支援して6年目となる ASIJ では、集まった食糧の重量は相当なものでした。「750 キロの食糧を2HJ のトラックに積むのは、ルービックキューブを解くようなものでした。」と同校中等部で教頭を務めるミーガン・ペイビーさん。「集まった莫大な量の食料と、ASIJの全4部門が共同体として共に活動したこと、これが今年のハイライトでした。」

ASIJ ではそれぞれの部門の生徒会が食糧を集める方法を決定しました。中等部のスチューデント・リーダーシップ・チームは学級対抗のコンテストを開催しました。優勝したのはハリス先生の学級です。「全員がベストを尽くしました。食べ物のない人たちのことを考えて、彼らが休暇中に食べる食料があればいいと思いました。私たちは誰もが他人を思いやるべきなのです。」とは同学級の生徒13人の言葉です。

フードドライブの実施は簡単です。以下は、学校、クラブ、組織、スポーツチーム、その他のコミュニティ・グループなどでフードドライブを成功させるためのポイントです。

- あらかじめ2HJに連絡を取り、ニーズや配送を検討しましょう。
- 貧困の問題は1年を通して起こっています。年に数回のフードドライブ実施を検討しましょう。
- 明確な開始日／終了日を設けましょう。
- 品質管理: フードドライブの開催中、および終了時に集められた食品をチェックし、賞味期限が切れているものや開封されているものは取り除きましょう。こうした食品は配給することができないため、寄付をいただいても有効に活用できないばかりか廃棄するためのコストがかかってしまいます。生徒たちには最初にこの点を説明しましょう。
- コンテストの要素を盛り込む: クラスや学年対抗で、誰が一番多く食料を集められるか競争しましょう。
- 目立たせる: 生徒たちで係を決め、目を引くような掲示板や集荷ボックスを作りましょう。
- 情報の周知: 集められた食料をカテゴリー別に記録した一覧表を掲示し、生徒たちが不足している品目を把握できるようにしましょう。

キックオフイベントやラップアップイベントを開催して、生徒たちが日本における貧困の問題を理解し、またフードドライブの成果を共有できるようにしましょう。■

ダニエルさん、ようこそ2HJへ！

新ハーベストパントリー・コーディネーターのご紹介

聞き手: 奥村友子

2年間にわたりハーベストパントリー・コーディネーターを勤めたミッシェル・ライアンさんに代わり、ダニエル・シーモアさんが2007年12月より新たに私たちの仲間に加わりました！

聞き手: 2HJはどのようにして知ったのですか？

ダニエル: 「今でもその一員として活動していますが、もともと自分は難民支援協会という団体でソーシャルワーカーとして、日本に逃れてきた難民の方々の支援をしていました。難民の方々は一般的に社会的保証がなく、まれに日本政府からの補助金が多少はあるものの、生活をしていく為に必要な金額からはほど遠く、食べるものの確保が難しい状況にいます。そのため難民支援協会は2HJからの食糧受給を恒常的に受けており、ソーシャルワーカーとして自分の前任者のミッシェルと常にやり取りをしていました。」

聞き手: どのようなきっかけでソーシャルワーカーからハーベストパントリー・コーディネーターになったのですか？

ダニエル: 「ミッシェルの仕事を引き継ぐ、というタイミングもあったのですが、それに加えて、2HJの組織拡張を視野に入れた新たなチャレンジと一緒に担わないか、という誘いがあったんです。例えば地域ごとの集配所をつく



るアイデア、そのためのネットワークづくり、それに外部の人たちにもっと2HJ の活動を理解してもらうための啓蒙活動などがその一例です。」

聞き手:ハーベストパントリー・コーディネーターの主な仕事は何ですか？

ダニエル:「簡単に言うと、食品提供企業からの食品を2HJ に登録している団体(孤児院、シェルター、難民支援協会など)に届ける手配を行うのがパントリー・コーディネーターの仕事です。食品提供企業からの食品を余すところなく、できる限り受領団体の希望に添ったかたちで最も効率的にデリバリーをするために、2HJ の運送のキャパシティをフル稼働させるのですが、そのための諸々の手配をするんです。今2台のトラックが稼働しており、新たに(ニュー スキン ジャパンから冷凍車の寄付を受けたので)1台車が増えましたが、それによりさらなる食糧配給が可能になるんです！まだコーディネーターの仕事は(2007年)12月から始めたばかりですから、これからですね！」

聞き手:ではこれからハーベストパントリー・コーディネーターとして、2HJ でどのようなことをやっていきたいと思っていますか？

ダニエル:「 餓死する人がいたり、経済格差、貧困の問題が最近、ニュースで伝えられたりしていますが、それでも日本ではまだ食糧問題がそれほど真剣にとらえられていないと感じています。人々の中にある“(自分には)関係ない”という壁を取り払うことができれば、そのためにもさらに色々な企業を取り込み、本格的に活動をして行く事で、2HJ が社会の歯車になっていけばいいと思っています。その活動の一員＝コーディネーターとして参加させていただけるのであればそれはとても幸せな事です。」

聞き手:もともと食糧問題には興味があったのですか？

ダニエル:「高校、大学と過ごしたアメリカではエイズ患者のカウンセリング、エイズ予防運動に関わっていました。少し前まで住んでいたインドでは感染病患者のケアやマザーテレサハウスでの活動に参加していました。ソーシャルワークで学位も取りましたし、何かしら自分が社会のためにできる事を探しているんだと思います。」

聞き手:仕事以外では何をしますか？

ダニエル:「自然の中にいるのが好きで、山登りをします。あとインド音楽をよく聴きます。」

ダニエルさん、ありがとうございました！■

ミッシェルさん、ありがとう！ - 2HJ の成長とこれからの課題

2年間にわたりパントリー・コーディネーターを務めたミッシェル・ライアンさんにお話を伺いました

私は2006年の春から2HJで働き始め、同じ年の9月にフルタイム職員になりました。初めは柴田夫妻(今でも市川の自宅から食糧配達を行ってくれています)と食糧配達を週に数回行うだけでしたが、2006年の9月からプログラムの拡大が可能になり、2HJに登録している団体の要求に見合ったものを配達できるようになりました。

この2年間の2HJの成長には目を見張るものがありました。スタッフが増えたので、シェルターや児童養護施設、難民施設など、より多くの団体を定期的に訪れる事が可能となり、250を超える個人世帯への食糧配達も始まりました。また去年は、全国規模でフードドライブを組織したことで、ネットワークが拡大し、登録団体やスポンサーから多大なる反響を得ることができました。

現在、何百万という人たちが貧困ライン以下の生活にあり、十分な食料のない状態に甘んじています。これからの課題は、ここ東京をスタート地点に、より多くのパントリープログラムを発展、持続させていく事だと思っています。そのためには、フードドライブを組織する学校や企業、個人の助けが必要となってくるでしょう。今までフードドライブを組織してくれた方々は素晴らしく協力的でしたので、今後とも彼らのサポートを期待している次第です！



仕事を覚える ハーベスト・パントリーの前任者であるミッシェル・ライアンと新任のダニエル・シーモアは、一ヶ月間共に仕事をし、スムーズな引継ぎを行いました。

写真:山崎玲子

一生懸命がんばってくれてありがとう！ミッシェル。どうかこれから先も素晴らしい人生でありますように。



チャリティーコンサートイベント報告

“空腹のない休日” 2007 (文章: ジョー・ハッチェム)

2007年の“空腹のない休日”チャリティーコンサートは、聖オルバン教会にて12月15日に行われ、2HJとしてはこのイベントを成功に導いてくれた全ての人に感謝を申し上げたいと思います。来場者の数は素晴らしいことに、(前売券、当日券、そして当日)通りがかった方の飛び入りなども含めて)103人にもなり、“大入り”でした。

オペラのカルテットやアリアなど伝統的なクリスマスソングが、声楽家の大黒 久美子さん、新明 裕子さん、坂口 義行さん、金沢 昴さんにより、水谷 直子さんの伴奏に合わせて見事に演奏されました。さらに、聴衆は愛らしいソロボーカルという形の特別なもてなしを新進のアマチュア歌姫、13歳のメアリー・マクジルトンから受けました。(2HJ創設者であり、誇らしい父親でもあるチャールズの娘)

この晩の締めくくりには、軽食も提供され、来場者は菓子パンやコーヒーを楽しみながら、交流を行いました。また、寄贈品のワインやその他の品物によるクジ引きも行われました。愛らしく、そして大成功に終わったこの晩は、皆さまのおかげです。以下の方がたに多大な感謝を表したいと思います。

- 聖オルバン教会
- パフォーマーの皆さんと彼らの豊かな才能
- 当日、(食料品や金銭面での)支援をいただいた皆さま
- 惜しみない努力をしてくださったボランティアスタッフ、サポートスタッフ
- そして中でも当日会場にお越しくださった来場者の皆さまには、イベントを成功に導いてくださったそのサポートに心からの感謝を表します。皆さまによってご購入いただいたチケットは、2HJのミッションである生活困窮者への食糧支援のために役立てられます。

そして、私たちが支援を行っている人々に代わって、皆さま全員に感謝を申し上げます。セカンドハーベスト・ジャパンのスタッフ全員より、皆さまの素晴らしい2008年を祈念しております。■

新車両のおかげで2HJの活動範囲がさらに広がります

2007年12月18日、2HJの最初の冷蔵/冷凍車が納車されました。ニュースキン ジャパンから寄贈されたこの1.5トン積載の車により、2HJはより多くの冷凍食品・冷蔵食品を引き取ることができ、それらを日本国内で食料を必要としている人たちに届けることができるようになります。ニュースキン ジャパンに心より感謝します。



新しい冷凍車でクリスマスギフト ニュースキン ジャパンのゲイリースミヒロ社長(写真左)から、12月に冷凍・冷蔵車が贈られました。この車の最初の配達、2HJスタッフの配島(写真上、左)と秋元による児童養護施設への冷凍菓子の配送でした。



2HJひと口ニュース(最新の出来事)

- 米国から訪日のステートストリート銀行役員と会合を行いました(10月15日)
- ハーベスト・フォー・ハンガー・イベントには102名の方が参加しました。(10月16日)
- カナディアン・アカデミーでライスドライブを行い、280Kgのお米が寄付されました。(10月22日)
- 2HJの代表が、フードバンク広島の創立総会に出席しました。(11月9日)
- 名古屋のボランティアと名古屋における活動のプランニングのための会合を持ちました。(11月13日)
- 社団法人日本アドバイザーズ協会による、「第47回消費者のためになった広告コンクール」にて、2HJのテレビコマーシャルが、公共部門の銅賞に表彰されました。(11月16日)
- ゴールドマン・サックス証券株式会社より2,760,000円の寄付を頂きました。(11月16日)
- モルガンスタンレー証券株式会社より1,661,000円の寄付を頂きました。(11月19日)
- フード・アドバイザー・ボードのキックオフミーティングを行いました。(11月29日)
- アメリカン・スクール・イン・ジャパン (ASIJ) が、フードドライブを行い、750Kgの食品が寄付されました。(11月30日)
- 株式会社カーブスジャパンの全国フードドライブによって集められた食料品を引き取りました。(12月1日)カーブスジャパンによると、約50トンの食品が集められ、全国の施設等に配布されました。
- 名古屋のボランティアとの会合(12月3日)
- 米国でのグローバル・フードバンキング・ネットワークの会合に参加(12月5日)
- 西町インターナショナルスクールのライスドライブで300Kgのお米が寄付されました。(12月10日)
- フードバンク・フィリピンとのカンファレンス・コール(12月10日)
- 女性の家 HELP のチャリティーコンサートに食品を提供(12月12日)
- 座間キャンパスの中学校でフードドライブが行われ、250Kgの食品が寄付されました。(12月13日)
- 東京ビッグサイトにおけるエコプロダクツ2007に参加(12月13日~15日)
- 清泉インターナショナルスクールでフードドライブが行われ、200Kgの食品が寄付されました。(12月14日)
- 「空腹のない休日」チャリティーコンサートに103名の方が来場してくれました。(12月15日)
- ニュー スキン ジャパン 株式会社から寄贈された1.5トンの冷凍車が正式に納車されました。(12月18日)
- 名古屋、関西、九州で食品の配送・引取を行いました。(12月18日~22日)
- 名古屋への初の定期配送(12月22日)
- フィリピン、イロイロにおいてフードバンクフィリピンとの会合(1月17日)
- 2HJの代表が、カナディアン・アカデミー(10月13日)、日光コミュニティーセンター(10月13日)、ステートストリート銀行(10月15日)、シスコシステムズジャパン(10月16日)、ピースポート(11月17日)、リコー株式会社(12月11日)、東海大学(12月17日)、清泉インターナショナル高等部(1月8日)、UBS証券(1月10日)、新生銀行(1月11日)、聖心インターナショナル・スクール(1月28日)、プリティッシュ・スクール・イン・東京(1月30日)の各場所で講演を行いました。



傘の下で 雨の下での作業も株式会社リコーから寄付されたテントのおかげで最近はずっと楽になりました。ボランティアが楽になるだけでなく、このポータブルテントは土曜日の炊き出しでの温かい食事が冷めたり、ぬれたりしないためにも役立ちます。株式会社リコーに感謝します。

作製協力

編集長:パトリシア・デッカー 記者:大原悦子, ジョー・ハッチェム, kmh, 奥村友子 写真提供:ミーガン・ペイヴィ, カーブス・ジャパン, 山崎玲子, 東京韓国学校 翻訳/編集:ジョセフ・ハイルマン, 森山啓子, kmh, マット・トライポー, ノグチ・ミキ, 奥村友子, 吉田由佳里, 和田裕介 レイアウト:パトリシア・デッカー

パートナーの皆様への感謝

主な食糧提供企業:コストコ ホールセール ◆ ニチレイ ◆ CP ◆ ハイイツ日本 ◆ マスターフーズ ◆ Eco Business ◆ ひかり味噌 ◆ テング ナチュラル フーズ ◆ Fujimamas ◆ ネスレ ジャパン ◆ Foreign Buyers Club ◆ 有限会社 ファー・イースト・トレーダー ◆ デリカフーズ株式会社 ◆ キューピー株式会社 ◆ ケンコーマヨネーズ株式会社 ◆ 株式会社鮎忠 ◆ 株式会社山形屋海苔店 ◆ エグザクト株式会社 ◆ 株式会社カーブスジャパン ◆ ハーゲンダッツジャパン株式会社 ◆ 日本アンカー株式会社 ◆ 株式会社香番屋 ◆ 大和証券株式会社 ◆ 新光証券株式会社 ◆ メリルリンチ日本証券株式会社 ◆ ニュー スキン ジャパン ◆ 株式会社マルハン 寄付・出資協力企業:リーマン・ブラザーズ ◆ モルガン・スタンレー ◆ 在日アメリカ商工会議所 ◆ ニュー スキン ジャパン ◆ FIT for Charity ◆ ステート・ストリート ◆ Tokyo American Club Women's Group ◆ コストコ ホールセール ◆ アリサンオーガニックセンター ◆ クレディ・スイス・ファースト・ポストン ◆ Mr. Kei Sato ◆ Seisen International School Hunger Fast ◆ Seisen International School Social Outreach ◆ 小百合の寮 ◆ Orrick ◆ 電通 ◆ フィリップモリス ◆ Black Ale Pub ◆ オルカ・ワイン ◆ UBS証券会社 商用車提供:メルセデス・ベンツ・ファイナンス(株) ◆ ビーコン コミュニケーションズ 後援団体:ビーコン コミュニケーションズ ◆ ギャビン・アンダーソン・ジャパン ◆ 川崎陸送株式会社 ◆ Kuehne + Nagel ◆ Yokosuka Naval Base Chiefs' Association 教会:聖アルバンス教会 (St. Albans) ◆ 東京ユニオン教会 (Tokyo Union Church) ◆ ウエスト東京ユニオン教会 ◆ 六本木教会 学校:東京インターナショナル・スクール ◆ 清泉インターナショナル スクール ◆ アメリカン・スクール・イン・ジャパン ◆ 聖心会 (Sacred Heart) ◆ 西町インターナショナルスクール ◆ マリスト・ブラザーズ・インターナショナル・スクール ◆ 東京韓国学校 ◆ カネディアン・アカデミー